

(平成 29 年 11 月試験研究業務月報)

試験研究課題：二枚貝養殖の安定化と生産拡大の技術開発

研 究

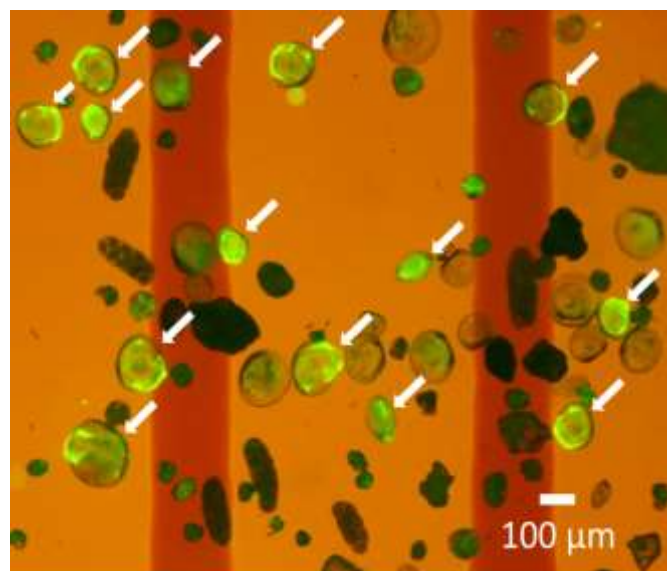
## 阿蘇海におけるアサリ浮遊幼生\*調査

京都府では平成 10 年以降にアサリ漁獲量が激減し、漁業者から資源の回復が望まれています。一方、宮津市の阿蘇海では、毎年春から夏に約 1 cm の大きさのアサリ稚貝が大量に発生することが確認されています。そこで当センターでは、この稚貝を漁獲し放流や養殖用種苗として利用するために、アサリ浮遊幼生の発生状況を調査しています。

11 月 22 日に阿蘇海内の 9 地点で調査したところ、今年も多数の浮遊幼生が出現していることを確認しました。これらの浮遊幼生が順調に成長すれば、来年も大量のアサリ稚貝が発生すると推測されます。

今後は、アサリ生産量の増大に向けて、産卵母貝の保護などにより稚貝の持続的な利用方法の確立を目指します。

※浮遊幼生：卵から発生したアサリは、約 2 週間海中で浮遊生活をします。



発色させたアサリ浮遊幼生（矢印）

海洋センター